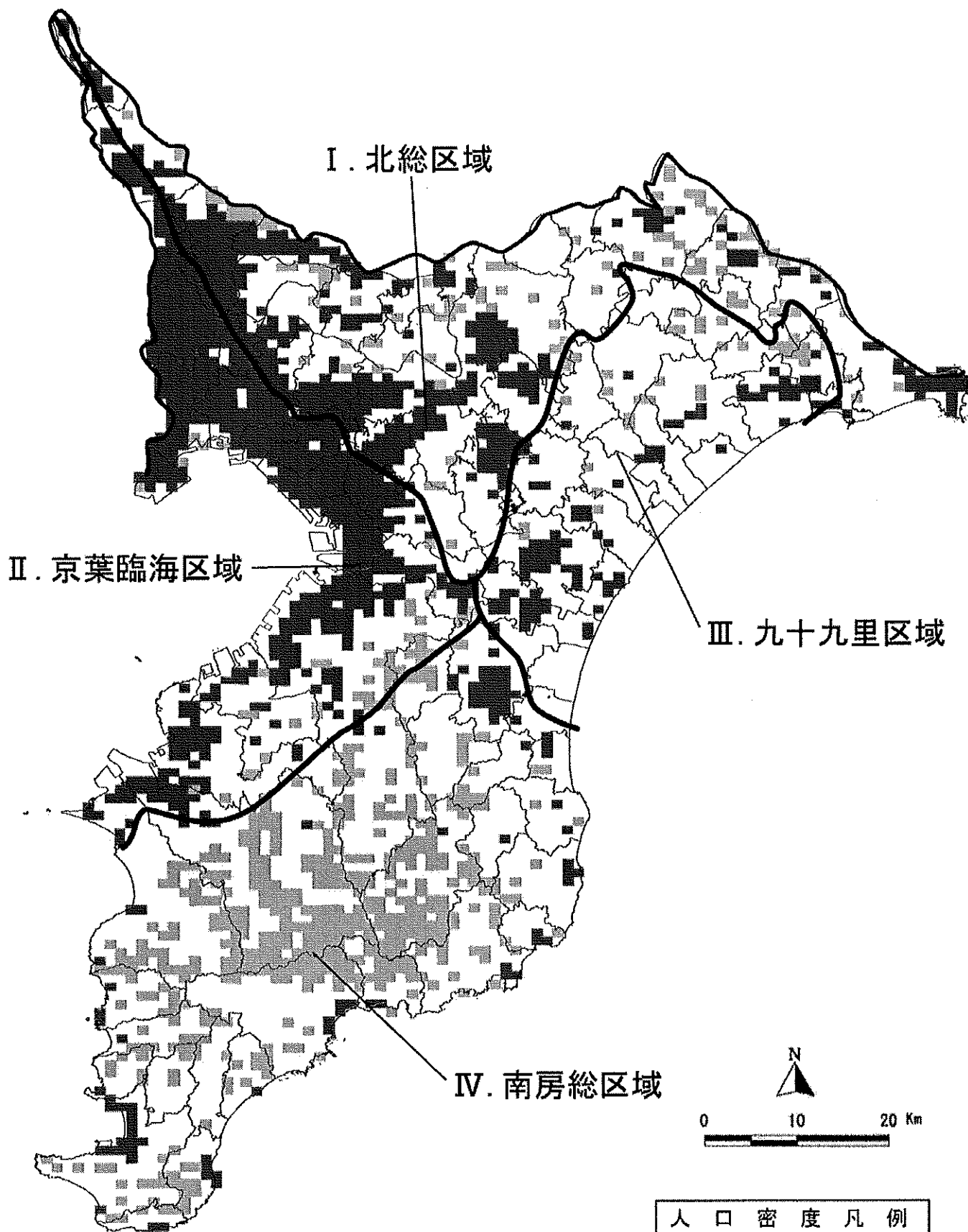


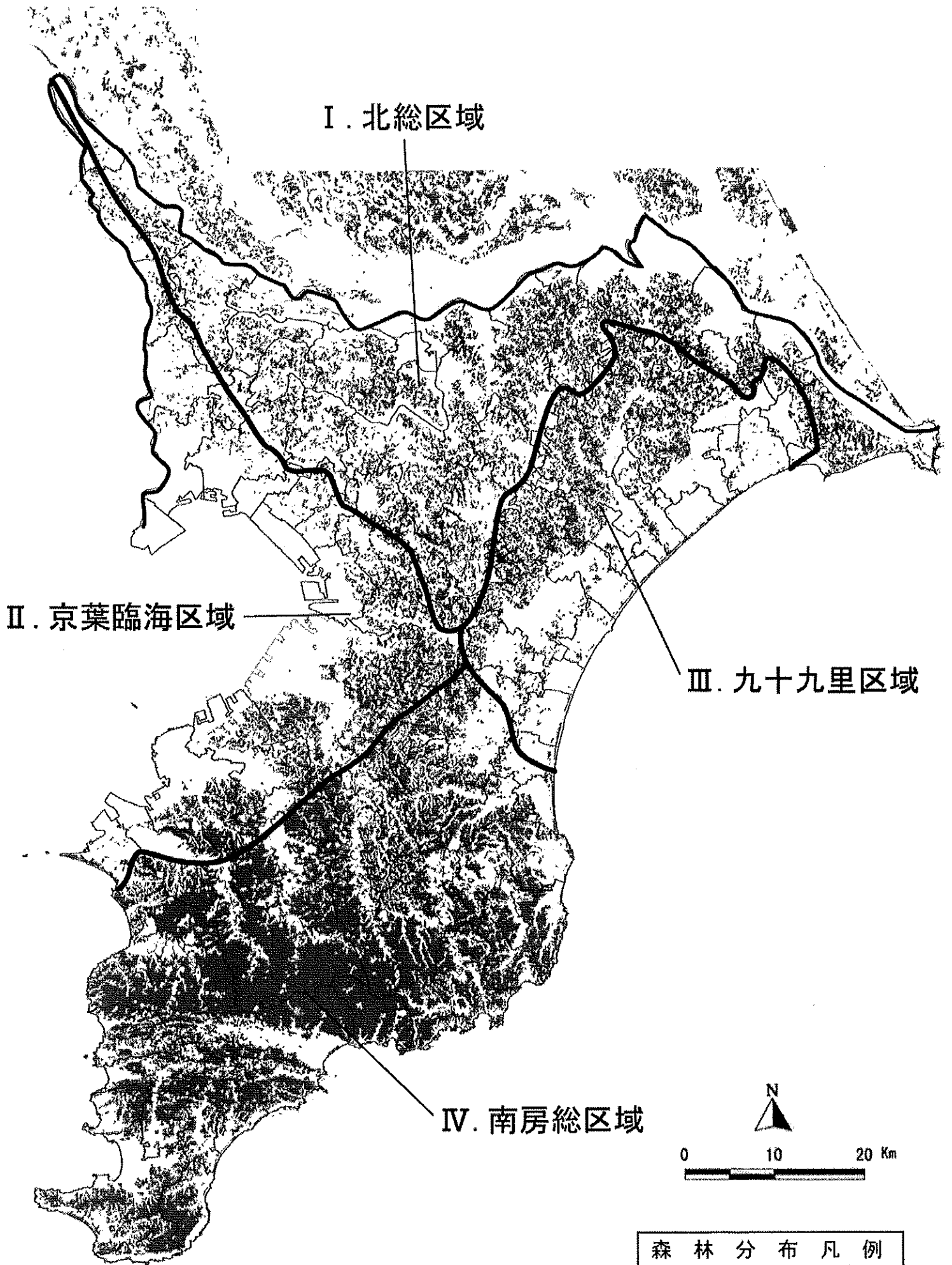


# 資 料 編

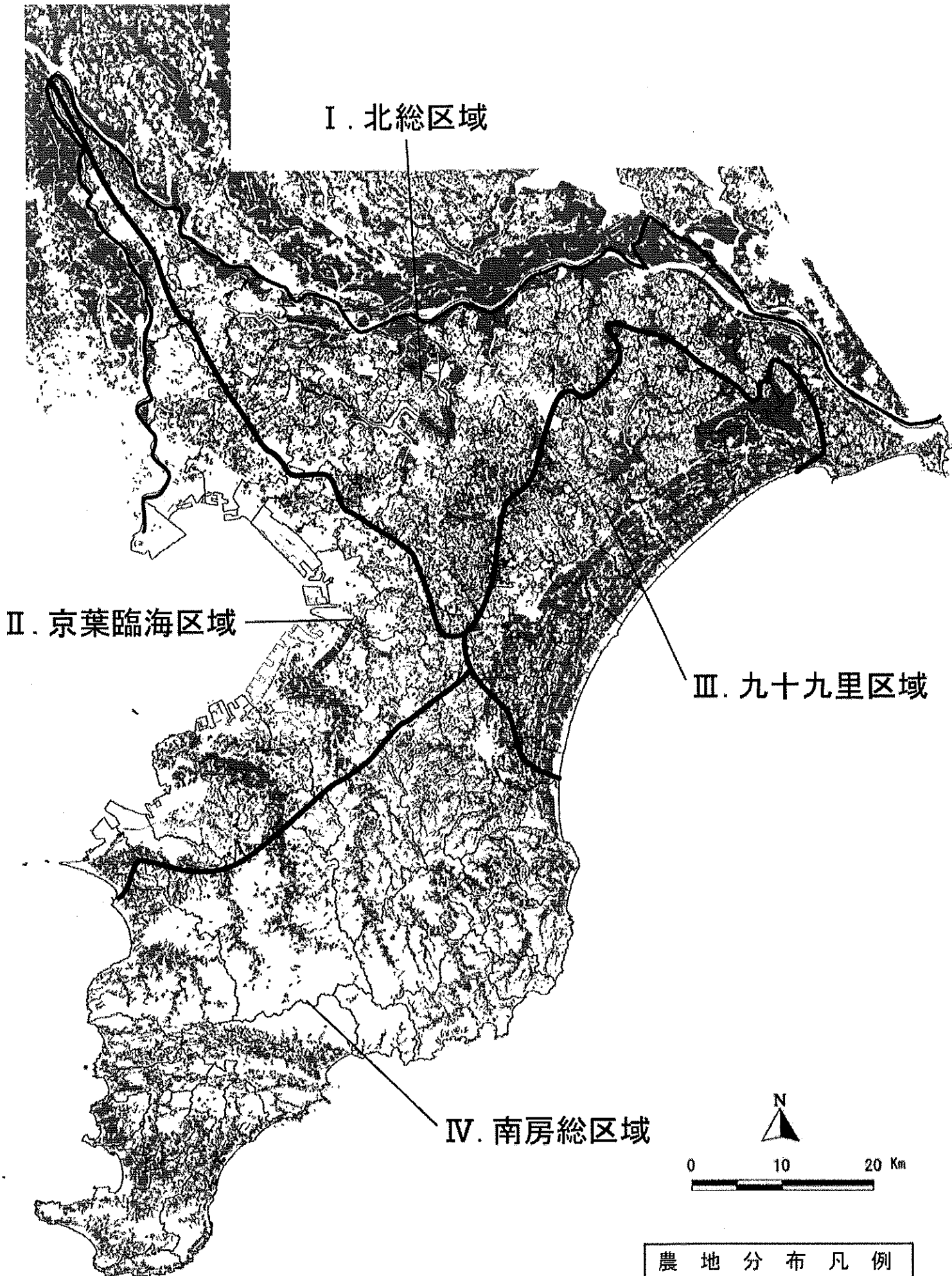
# 1 データ集



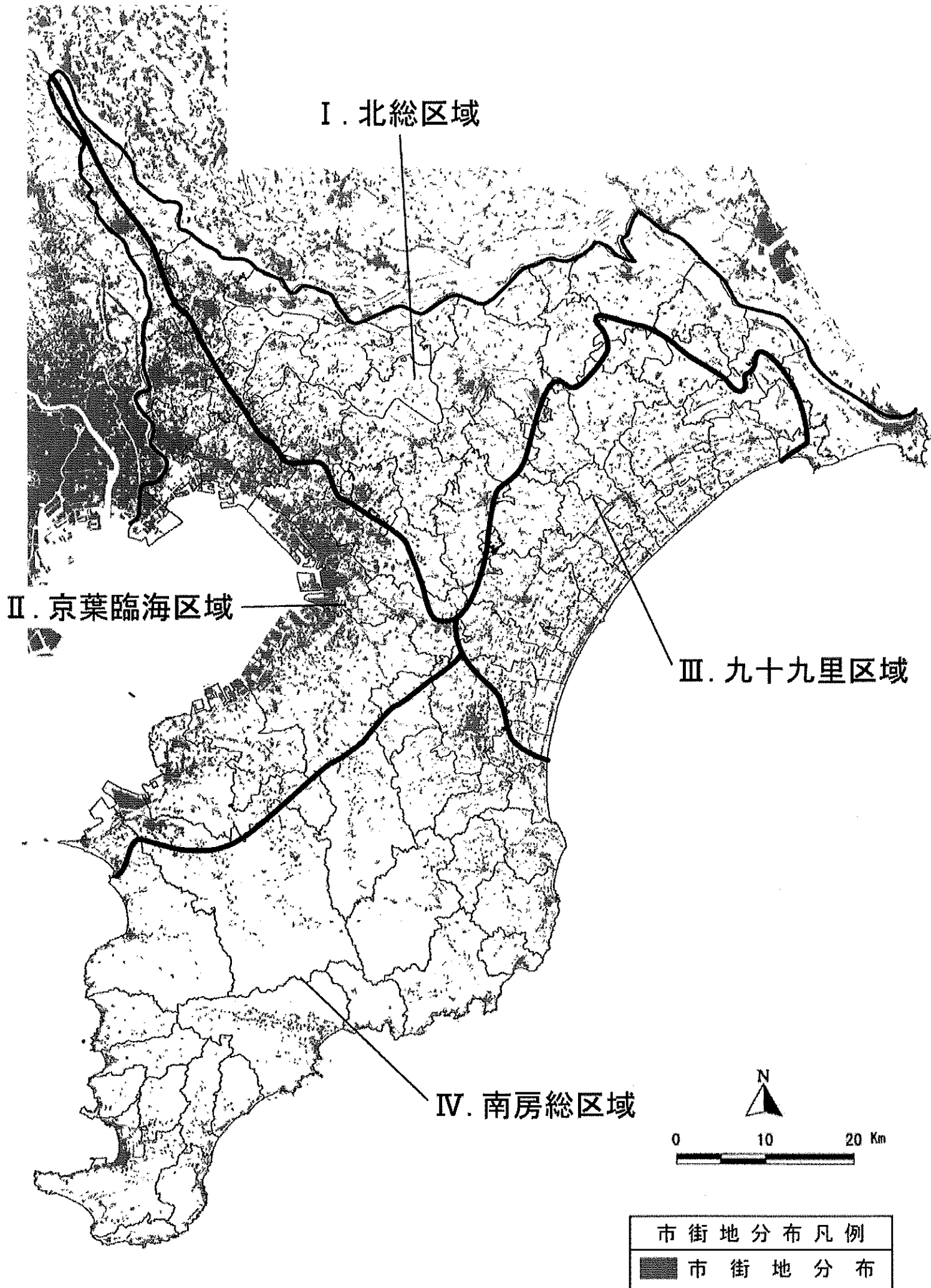
人口密度凡例	
	1000人以上／メッシュ
	0人／メッシュ
1区画は約1Km四方	



森林分布凡例	
■	森林分布



農地分布凡例	
	農地分布



## 2 タウンミーティング報告

タウンミーティングにおける意見の概要

—千葉県環境基本計画、(仮称)生物多様性ちば県戦略、千葉県環境学習基本方針、ちば環境再生計画、の見直し、策定に向けて—

	開催日	時刻	地域	会場	名称	主催団体	参加人員
1	10/22 (日)	13:00 ～ 17:00	千葉市	あすみが丘プラザ	ESD地域ミーティングin土気	緑の環・協議会	48人
2	10/27 (金)	17:00 ～ 18:10	船橋市	船橋市北部公民館	環境づくりタウンミーティング(印旛沼わいわい会議後)	環境パートナーシップちば	25人
3	11/9 (木)	17:20 ～ 18:20	成田市	成田国際会館	生命のにぎわいとつながり(印旛沼わいわい会議後)	手賀沼・印旛沼生物多様性保全・再生実行委員会	30人
4	11/19 (日)	13:20 ～ 16:20	千葉市	幕張公民館	・講演会 農業を使用しない環境にやさしい庭づくり ・生物多様性の保全について	農業空散反対千葉県ネットワーク	15人
5	11/24 (金)	18:00 ～ 20:30	大網白里町	大網白里町中央公民館	生物多様性保全について 大網白里町からの提案	環境会議おおあみしらさと21	27人
6	11/25 (土)	13:00 ～ 17:00	東葛・葛南	和洋女子大学・東館	東葛・葛南地区生物多様性タウンミーティング	環境タウンミーティング東葛・葛南実行委員会	42人
7	11/26 (日)	13:30 ～ 16:45	四街道市	四街道市文化センター	千葉県「生物多様性ちば戦略」四街道タウンミーティングPART1 「21世紀も人間は動物である」	タウンミーティング四街道実行委員会	100人
8	12/10 (日)	13:30 ～ 16:50			千葉県「生物多様性ちば戦略」四街道タウンミーティングPART2 「生物多様性の重要性について」		
9	11/28 (日)	13:30 ～ 16:00	香取市	佐原中央公民館	「千葉県の環境づくり」タウンミーティング香取地域からの提案	環境タウンミーティングちば実行委員会香取グループ	57人
10	11/28 (火)	18:30 ～ 21:00	千葉市	千葉市民会館	環境づくりタウンミーティングinちば「千葉県環境学習基本方針」について	環境づくりタウンミーティングinちば実行委員会	39人
11	12/2 (土)	13:30 ～ 16:00	佐倉市	佐倉市役所社会福祉センター	命のにぎわいと印旛沼——谷津田・里山そして川	環境タウンミーティングちば佐倉グループ実行委員会	70人
12	12/4 (月)	14:00 ～ 16:30	君津市	君津市役所	君津地域における生物多様性保全と市民生活のかかわり	君津地域タウンミーティング実行委員会	80人
13	12/9 (土)	13:30 ～ 16:30	山武市	山武市成東文化会館	環境・自然・里やまの山武市タウンミーティング	環境・自然・里山のタウンミーティング実行委員会	62人
14	12/10 (日)	13:00 ～ 16:15	千葉市	千葉県立中央博物館	環境タウンミーティングちば	環境タウンミーティングちば	70人
15	12/10 (日)	13:30 ～ 16:15	印西市	東京電機大学 福田ホール	北総里山タウンミーティング—生物多様性ちば県戦略づくりにむけて—	北総里山タウンミーティング実行委員会	210人
16	12/12 (火)	15:30 ～ 17:30	我孫子市・柏市	柏市民活動センター	生物多様性ちば県戦略タウンミーティング	千葉県の生物多様性を考える会	37人
17	12/16 (土)	17:00 ～ 20:00	いすみ市	いすみ市役所	外房地区タウンミーティング	外房地区タウンミーティング実行委員会	50人
18	12/17 (日)	13:30 ～ 16:00	南房総地域	ろくすけ	わくわくする里づくりの実践～地域の声よ、想いよ、とどけ～	安房地域実行委員会、千葉自然学校	21人
19	12/17 (日)	11:00 ～ 12:30	松戸市	松戸市民会館	千葉県の環境づくりタウンミーティング	環境タウンミーティング松戸	52人
20	12/23 (土)	13:00 ～ 16:30	千葉市	千葉県立中央博物館	環境タウンミーティング 総括大会	「千葉県の環境づくり」タウンミーティング実行委員会	170人



### **3 県・市町村・NPO・企業の**

#### **取り組み**

所属名	調査・研究	資料・情報	計画・指針等の策定	具体的な事業	普及・教育・啓発	その他施策
農林水産部 安全推進課	—	—	—	—	—	○環境対策推進事業 ちばエコ農業産地拡大プロジェクト77 ア支援事業(通常と比べて、化学 学合成農薬や化学肥料を1/2 以下に減らして栽培する農産物 について、「ちばエコ農産物」とし て、県独自の認証を行う。) ○中間地域等直接支払交付金 中間地域において、農業生産の 維持を通じて多面的機能を確保 する観点から、5年以上農業生 産活動等を維持する農業者等 に面積等に応じて交付金を交付 する。
農地課	—	—	○市町村が策定する景観農業振 興地域整備計画 景観法に基づき、市町村が策定 する景観農業振興地域整備計画 の知覚協議に際し、法定要件を 審査するとともに、農業振興地域 内において、景観と調和の取れた 良好な営農条件の確保を図るべ き区域として、農村地域に特有な 景観の保全・創出について助言 する。	—	—	—
耕地課	○生態系保全型水田整備推 進事業(平成13～17年度) 稲穂整備事業実施地区内での 排水路内の魚道工につい て、モニタリング調査等実施。 ○田んぼの生き物調査(H13 ～)	—	千葉・新ふささとづくり(千葉県農 業農村整備環境対策指針)(H9 策定)	—	千葉・新ふささとづくり(農村に自然 をとりもどそう H9)、埴生川皿期地 区の稲穂整備(生き物たちのにぎわ いのある田んぼづくりへの挑戦)の PRパンフレットの作成。	—
農村整 備課	—	—	—	希少種保全のためのハート整 備、夕方に配慮した水路整備、 ヒトへの創出、景観林の創出	—	—
林務課	森林資源モニタリング調査(県内 100箇所の定点＝森林につい て、森林の樹種や現存量など の状況や変化の動向を5年ご とに国が定めた全国一律の 方法で調査中)	—	千葉県北部地域森林計画(森林 整備の指針等)、千葉県南部地 域森林計画(森林整備の指針等)	—	—	放逐・拡大竹林の再整備モデル 事業(平成19年度新採要中)
みどり 推進課	—	みどりの百選	千葉県里山条例、里山基本計画	—	里山ファステイバル、里山一日体験によ り県民に対し、里山条例の趣旨、理 念の浸透を図る。	里山総合保全整備事業により里 山活動団体等への総合支援を 実施。
水産課	三番瀬の魚場環境について、 環境特性と漁業生産の状況 を整理した魚場特性マップを 作成し、魚場再生に向けた検 討を進める。	—	「三番瀬魚場再生の目標」を策定	—	—	—
漁業資 源課	三番瀬において、薬場造成試 験を行うため、陸上池におけ るアマモ株の育成と採種の突 実施	—	三番瀬再生計画(事業計画)策案	薬場造成試験	—	—
漁港課	—	—	広域漁港整備事業「乙浜漁港自 然調和型漁港づくり事業」	乙浜漁港・東沖防波堤の建設 に当たり、従来の防波堤より背 後の捨石マウンド幅を40m広く し、水産動植物の生息が可能 となるようなブロッック等を設置し 漁獲効果を付加する。	—	—
都市計 画課(美 しい県 土づくり 担当)	—	—	・県景観条例検討中、条例に基づ く基本方針検討中 ・千葉県広域景観計画検討中(景 観法第8条) ・千葉県景観形成指針(H5策定)	—	景観に対する意識の高揚のため、 景観法説明会、講演会、出前講座、 フォーラム(12月実施)などの普及 啓発を行っている。	—
道路計 画課	銚子連絡道路(横芝光～匝 瑛市間 完成2車線、約5k m)の事業着手に向け、条例 に準じた内容で環境調査を突 実施。	—	—	環境調査を踏まえ、自然環境 等に配慮しながら、事業を実施 する。	—	—
河川計 画課	印旛沼へ流入する河川等の 水質調査	—	印旛沼流域水循環健全化緊急行 動計画「恵みの沼をふたたび」	—	「印旛沼わいわい会議」(自然環境 に関する分科会あり)、緊急行動大 会(「恵みの沼をふたたび」)、副読 本の作成(小中学校の環境学習で使 用)	—
河川環 境課	河川法に基づく県管理河川に おける生態系事前・事後調査 (事業区間のみ)、河川法に 基づく県管理河川における水 辺の国勢調査(全河川ではな い)	河川環境情報図(計画のある 河川のみ)、千葉県の河川(冊 子)、ハンフレットの作成(水系ご と)、ホームページ(河川環境課、 河川計画課)	多自然川づくり基本指針(国土交 通省通達)、美しい山河をつくる 災害復旧基本方針(国土交通省 通達)、21世紀の千葉県の川づく りの方向性(3つの提言)、千葉県 溪流環境整備計画、印旛川流域 水循環健全化緊急行動計画、各 河川における河川整備基本方針 及び河川整備計画	典型性、典型性バリエーション、特定 種、希少種に配慮した河川整 備や管理(カサセ、ゴボネ、ヨシ 原)	千葉県の河川(冊子)、ハンフレットの 作成(水系ごと)、生き生き川づくり 担当者会議(各事務所の河川担当 者による事例研究、毎年1回開 催)、小中学校における水辺をフール ドとした環境学習の支援	河川堤防除草における特定外 来生物(アライグマ)の駆除の留意 事項を各整備事務所へ通知し、 駆除を実施。

所属名	調査・研究	資料・情報	計画・指針等の策定	具体的な事業	普及・教育・啓発	その他施策
公園緑地課	青葉の森公園:毎木調査(移植・保存樹木等の調査)、長生の森公園:自然環境調査	—	—	青葉の森公園:コト・ニ・ニの整備	—	—
県土整備部	放流水先の公共水域の環境調査など。	放流水影響調査、放流先海域調査など。	—	—	—	—
教育庁	香取地域整備センター	植物ナガバコノホネの育成状況資料	—	—	—	—
教育庁	教育振興部文化財課	『ふさの国の文化財総覧』全三巻(移住)教育庁ホームページで公開)	—	県立博物館がこれまで蓄積してきた多くの資料・情報と高い専門性と基に、各館周辺地域の自然や文化そのものを「資料」と考え、海・山・川の3分野のフィールドミュージアムをネットワーク化した「千葉フィールドミュージアム事業」を実施。	県内の国・県指定文化財をまとめた『ふさの国の文化財総覧』全三巻の刊行(H15～16年度) 川のフィールドミュージアム「田んぼと水路の生き物」における自然観察と水路の生き物の作成(県立大相模博物館)、 「江戸を採す」関宿城下散策ツアーにおける文化財散策と、文化財マップの作成と解説版の設置(県立関宿城博物館)、 海のフィールドミュージアム「沖ノ島」における生物分布マップの作成(県立安房博物館)(H18年度)など。	—
企業庁	山倉ダムの堤体強化工事に伴う自主的な自然環境調査の実施。	堤体強化工事後3年間(H17～19年度)の水生物等の追跡調査として工事後の回復状況一覧等。	—	堤体強化工事はダム水位を下げて実施したが、上流側に仮締切堤を設置して水域を保持し、水生生物への影響を軽減させた。	—	—
史料研究財団	—	「千葉県の自然誌」編纂にかかわるデータ	—	—	—	—
千葉県衛生研究所	感染症媒介介介の生態実態調査	動物寄生性ダニ類(ダニ、ツツガムシ、トゲダニ他)、シミ類、ミミ類 →千葉県自然誌本巻6 千葉県の動物Ⅱ 陸と淡水の動物 ヤマビル、千葉県衛生研究所1997(ヤマビルの生態と防除に関する調査報告書)	—	—	—	—
環境研究センター	東京湾プランクトン調査(継続)、三番瀬の海藻調査(1993年)、(三番瀬)カサシ調査(2006年)	水質保全研究年報(赤潮等)プランクトン調査	—	—	手賀沼流域市民協働調査(水質保全課主催)、河川協働調査、生協環境調査の協力等	—
千葉県立中央博物館	①重点研究課題3研究 「外来生物の分布・生態と自然環境の保全復元」、 「房総における古環境と人類活動」、 「子どもと自然・文化体験」に果たす博物館の役割」 ②地域研究課題29研究 「房総の分類学的多様性の特徴とその保全、その他」 ③普通研究課題24研究 「分類学的多様性に関する基礎的研究、生態学的多様性の維持機構に関する基礎的研究、その他」	県内外の自然・生物・文化にかかわる資料・情報・標本の収集・保存。資料標本台帳(簿冊・カード・デジタル情報)の作成。資料約57万点。	千葉県の自然・文化に関する資料・情報収集を当館の使命の一つとして位置付けている。また、事業中期目標(期間:H16～20)の5章「フィールドミュージアム事業の展開」において、生態園、房総の山のフィールドミュージアム、海の博物館それぞれにおいて、生物多様性を維持管理するための調査研究及び学習支援を行うことを掲げている。	「生態園」での自然学習に対する教員向け教材作り作成等、「山のフィールドミュージアム」での自然観察路の整備等、「市民研究員」養成のための報告会等、教員・指導者向けの講座の開催等	千葉県の自然・文化にかかわる常設展、企画展を本館及び分館等で開催	
農業総合研究センター	(1)「いちばエコ農業」の推進を図るため、本県主力品目の工芸栽培技術を開発し、実証試験を平成16年度から実施。 (2)環境負荷がより少ない養液栽培技術の開発および陸液浄化システムの実用性評価について実施。 (3)環境と調和した環境保全型農業を推進するため、化学合成農薬、化学肥料由来窒素を減らした生産技術の開発試験を実施。 (4)ゴルフ場の無農薬化を推進するため、芝管理の無農薬化に関する技術開発を実施。 (5)野生鳥獣による農作物の被害を軽減するため、有効対策について試験を実施。 (6)自然環境に配慮したため、排水の整備を推進するため、排水路護岸工法の開発試験を実施。	(1)試験内容については千葉県農業総合センター業務概要(2)試験結果については各年度試験成績書 (3)完了した試験については研究成果集、それに付随する資料、パンフレット等	—	—	—	—
森林研究センター	マテハン(県立)分布調査、ヒメマツの保全(県立)中央博物館、東大演習林)、治山工事の法面緑化における吹き付け種子配合の検討、海岸防災林に混生するニセアカシアの管理技術、シカ・イノシシ、サルによる林業被害対策、竹林再生モニタリング調査(H19年度新規要求中)	重要森林位置図、スキ巨木調査台帳、巨樹古木調査台帳	—	—	里山活動によるちるちの森づくり(カイトフック)作成、里山巡回相談(みどり推進課と連携)	里山公開講座の開催(千葉県緑化推進委員会・みどり推進課と連携)

所属名	調査・研究	資料・情報	計画・指針等の策定	具体的な事業	普及・教育・啓発	その他施策
水産総合研究センター	水産生物の分布・生活史の研究、魚場環境の調査	千葉県の水産試験場(千葉県水産試験場報告, 第57号, 2001)、印旛沼における張網漁獲物組成の変遷、夷隅川の魚類・甲殻類目録、与田浦の魚類・甲殻類目録、湊川の魚類・甲殻類目録、栗山川の魚類・甲殻類目録(千葉県内水面水産試験場研究報告, 第6号, 1996)、利根川の魚類・甲殻類目録、南白亀川の魚類・甲殻類目録、養老川の魚類・甲殻類目録(千葉県内水面水産試験場研究報告, 第7号, 2000)	-	-	相模湾の設置、漁業環境に関する情報提供等	-

生物多様性に係る施策の実施状況(県庁内)

所属名	調査・研究	資料・情報	計画・指針等の策定	具体的な事業	普及・教育・啓発	その他施策
総合企画部	①主に昭和60年代以降、三番瀬の埋立を前提にした環境影響評価の基礎資料とすため、地形・底質・底生生物・鳥類などの調査を実施 ②環境協議の意見を聞き、三番瀬の自然環境の仕組みを把握するため、補足調査を実施 ③三番瀬円卓会議において、現状把握の必要性が指摘され、調査を実施	H15年度三番瀬自然環境総合解析「三番瀬の現状」、「市川二期・京葉港二期地区計画」に係る環境の現状についてほか	千葉県三番瀬再生計画(H18策定予定)、基本計画、事業計画(動物の愛護及び管理に関する法律第6条に基づく計画)*H19年度策定予定	干潟的環境(干域等)形成の検討・試験、淡水導入の検討・試験、自然再生(湿地再生)事業	インターネットによる情報発信、広報拠点活用事業、三番瀬フェスタ開催事業、三番瀬再生事業の支援と広報、三番瀬再生クラブ(仮称)の設立、三番瀬再生キッズ育成事業	海や浜辺の利用のルール作りの取組み、三番瀬の再生・保全・利用のための条例の制定
健康福祉部	—	—	千葉県動物愛護管理推進計画(動物の愛護及び管理に関する法律第6条に基づく計画)*H19年度策定予定	動物愛護管理事業(普及・啓発)	動物の飼いや等、リーフレット他	—
健康福祉部	—	三番瀬データベース維持事業(三番瀬に関する生物・水質等調査結果をデータベース化し、県内2箇所ですべて公開するシステムの管理及びデータの更新を行うもの。)	—	—	①三番瀬自然環境合同調査事業(三番瀬の自然環境について、県民等に参加を募り調査を実施し、三番瀬に対する理解を深めるとともに、参加者が主体的に実施できるように、リーダ者を育成するもの。) ②環境学習の指導者養成講座(エコマインド養成講座)に自然環境の保全に関するカリキュラムを設けて実施している。	千葉県が策定した「ちば環境再生計画」に基づいて千葉県環境財団に設置された「ちば環境再生基金」により、次の活動に助成をしている。 ①NPOや市民団体による「自然環境の保全と再生」の活動 ②市町村が地域の住民等と連携を図りながら計画的に実施する自然環境の保全・再生事業
水質保全課	—	①手質沼湧水マップ(H13.6作成):手質沼流域における主要な湧水の分布状況、分布図等 ②印旛沼流域湧水マップ(H15.3作成):印旛沼流域における主要な湧水の分布状況、分布図	手質沼水循環行動回復計画(H15.7策定):手質沼流域の残された自然環境を生かす水質の確保、水生生物や水辺の保全という一体的な水環境の回復を図る。目標1:人々が手質沼の水辺で遊ぶことができる水質の実現 目標2:多様な生物の生育・生活環境の保全再生と水生植物の復活	—	環境省が調査方法を定めた「水生生物と水質判定」に基づき、生物と水質の関係を調査することにより、水環境の把握を図るとともに、一般県民に対する水環境の保全への啓発効果を図る。調査結果は環境省ホームページにより公表。	○水生植物再生の再生事業(H17年度～) 手質沼流域の小中学校やNPOと連携し、かつて手質沼に生育していたガガイモ等の水生植物を再生し、健全な水辺環境の回復を図る。(手質沼水環境保全協議会) ○湖沼水質保全計画における湖沼水質保全特別措置法 指針・湖沼水質保全特別措置法概要:水質の保全のために特に保護が必要な地域を指定し、植物の採取等について届出を義務付ける等により、水質浄化機能を確保するために湖沼の環境を適正に保護する制度。 ○湖沼水質保全計画において創設された制度。現在検討中の第5期計画には盛り込むことが困難であるが、今後、指定の必要性について検討していく。 北千葉道水事業によって水質が改善した手質沼においては、湖沼としての生態系が失われたとの指摘もあり、今後湖沼内環境を含めた保全のあり方を確立していく必要がある。
自然保護課	自然環境調査、三番瀬の自然環境調査、野生鳥獣生息調査、千葉県射撃場環境モニタリング調査(排水等モニタリング調査委託・沈砂地維持管理)、自然公園自然環境・現況調査、車両入れ規制区域指定調査	各種調査結果、千葉県レポートアップ、ヒートマップ	千葉県自然環境基本方針、千葉県自然公園条例、千葉県自然公園条例等における建築物等の建設に係る指針、千葉県自然公園特別地域における大規模な開発行為に係る指針要綱、千葉県特定鳥獣保護管理計画、ヒートマップ	外来種緊急対策特別事業、野生鳥獣管理対策事業、自然環境保全地域等の指定及びび保護等緑化協定、ミヤコナゴ保護増殖事業、大福山北部周辺公有化事業、行徳湿地再整備事業、生物多様性検討事業、野生鳥獣保護施設整備事業、傷病野生鳥獣救護事業、放鳥事業、行徳鳥獣保護区の維持管理、自然公園の指定、自然公園の管理(許認可、指導員の設置)県立九十九里自然公園内車両入れ規制	生物の生息空間(ヒートマップ)を確保した地域づくりの推進、鳥獣保護思想の普及啓発事業(ホスター・コンクール)、ワットワ、環境教育推進事業、狩猟事故防止対策及び取組	「みどりの基金」造成事業、自然遊歩道整備事業
資源循環推進課	—	—	「千葉県資源循環型社会づくり計画」では、3つの視点から千葉県が目指す将来像を定めているが、「重み豊かな環境が保全され、人と自然が共生できる社会」を目指すこととしている。そのビジョンに基づき、県民、NPO、事業者、行政等が主体的に取り組み行動指針として、自然浄化能力を維持増進し生物多様性の確保にも資する取組みを示している。なお、現在、計画の改定作業中であるが、回収率については継続する予定である。	—	—	—
産業振興課	—	—	—	—	—	H19年度に、関係大学とかがDNA研究所との共同研究やプロジェクト事業推進協議会の設置を予定(予算要求中)。
保安課	—	—	—	—	—	採取計画認可申請にあたり、採取終了区域的に植栽緑化・一部廃止を計画的に行うための中期事業計画書の提出を求め、着実に履行するよう指導している。

## 「(仮称) 生物多様性ちば県戦略」専門委員会設置要綱

### (目的)

第1条 千葉県における生物多様性の実態を明らかにするとともに、生物多様性の保全・再生及び持続可能な利用について、施策の方向性及び取組を示すための「(仮称)生物多様性ちば県戦略」策定にあたり、必要事項を検討することを目的として、「(仮称)生物多様性ちば県戦略」専門委員会（以下「専門委員会」という。）を設置する。

### (選任)

第2条 委員は、学識経験を有する者のうちから知事が委嘱する。  
2 委員の任期は1年とする。

### (構成)

第3条 専門委員会は8名で構成する。

### (検討事項)

第4条 専門委員会は次の事項を検討する。  
(1) 生物多様性の現状の把握  
(2) 生物多様性に係る課題の抽出  
(3) 生物多様性への対応に対する基本的な考え方  
(4) その他専門委員会の目的を達成するために必要な事項

### (会長等)

第5条 専門委員会に会長1名及び副会長1名を置く。  
2 会長は、委員の互選により定める。  
3 副会長は、会長の指名により定める。  
4 会長は、会務を総括し、専門委員会を代表する。  
5 副会長は、会長を補佐し会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

### (会議の開催)

第6条 専門委員会の会議は、必要に応じて会長が召集し、会長が会議の議長となる。  
2 会長は必要に応じて会議に委員以外の者の出席を求め、意見を聞くことができる。

3 会議は、専門委員の過半数の出席がなければ開くことができない。

(事務局)

第7条 専門委員会の事務局は、千葉県環境生活部自然保護課に置く。

2 事務局は、専門委員会の運営に必要な事務を行う。

(その他)

第8条 この要綱に定めるものの他、必要な事項は専門委員会において定める。

附 則

この要綱は、平成18年10月16日から施行する。

「(仮称) 生物多様性ちば県戦略」専門委員会 委員名簿

<委 員>

会 長	大澤 雅彦	東京大学大学院教授
	親泊 素子	江戸川大学教授
	仲岡 雅裕	千葉大学大学院准教授
	中村 俊彦	千葉県立中央博物館副館長
	長谷川雅美	東邦大学教授
	羽山 伸一	日本獣医生命科学大学准教授
副会長	原 慶太郎	東京情報大学教授
	吉田 正人	江戸川大学教授

以上 8 名

<オブザーバー>

金親 博榮	谷当グリーンクラブ
佐野 郷美	市川緑の市民フォーラム
田畑 貞寿	県環境審議会自然環境部会長
手塚 幸夫	夷隅郡市自然を守る会

以上 4 名

(50音順、敬称略)